

国民健康保険おいらせ病院経営強化プランに
関する点検・評価書

令和7年 2月

国民健康保険おいらせ病院

I 点検・評価にあたって

(1) はじめに

おいらせ町の公立病院改革は、国のガイドラインに基づき、平成 21 年 2 月 28 日に「国民健康保険おいらせ病院経営改革プラン」、平成 29 年 2 月 28 日に「国民健康保険おいらせ病院新経営改革プラン」を策定し経営改善に努め改革に取り組んでまいりました。

更に【令和 4 年 3 月 29 日付 持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン】に基づき、持続可能な地域医療提供体制確保のため、公立病院の経営を強化していくことを目指し、令和 6 年 3 月に令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 年間を目標期間とし、「国民健康保険おいらせ病院経営強化プラン」を策定しました。

経営強化プランでは、これまでの改革プラン・新改革プランと同様、実施状況について概ね年 1 回程度、病院運営審議会による点検・評価をすることとし、令和 5 年度の本プランの実施状況についての点検及び評価を行いました。

(2) 令和 5 年度 おいらせ病院事業報告 総括事項

地域社会における人口減少と高齢化の進行は、医療の地域的偏在をもたらし、診療科の閉鎖や病床の削減といった医療体制の縮小を招くなど、地域医療を担う自治体病院として医療提供体制の維持が以前にも増して厳しくなっている状況であります。このような中、持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、自治体病院としての役割や機能の最適化並びに中核病院との連携強化がもとめられているところです。

令和元年度から発生した新型コロナウイルス感染症は、令和 5 年 5 月 8 日から感染法上の位置付けが「2 類相当」から季節性インフルエンザ等と同等の「5 類」へ引き下げられたものの、いまだ来院時の感染を警戒する患者様の受診控え等の影響もみられ、特に外来患者数については感染症発生前の患者数まで戻り切れておらず、加えて、ウクライナ情勢等に端を発した原油・物価等の高騰により各種経費が増加するなど、厳しい病院経営環境となっております。

医療サービスにおいては、令和 5 年 9 月より新たに小児科医を常勤医として採用し、これまで月曜日の午後のみであった小児科診療を、毎日実施することが可能となりました。さらに、令和 3 年度に整形外科医が退職してから停止していた整形外科についても、令和 6 年 4 月より新たに常勤医の採用が決まっており、患者様の利便性が図られ、新たな患者様の受診に繋がる相乗効果が得られるものと期待しております。

感染症対策においては、継続して発熱外来を実施するなど感染対策に努めてまいります。

今後も人口減少がもたらす地域社会の縮小などの社会的要因や新型コロナウイルス感染症及び物価高騰等の影響などで厳しい運営が続くと予想されますが、費用の圧縮に努めるなど経営の健全化を図りながら、地域住民の安心を守り、信頼され、親しまれる病院づくりに努めてまいります。

II おいらせ病院経営評価プランの実施状況について

(1) プランの内容と取組状況

項目	計画	実施状況
地域医療構想を踏まえた役割	基幹病院との連携を強化し後方支援病院として基幹病院への救急搬送・在宅復帰支援の入院患者受入、老人・介護施設からの入院受入れを推進	毎週の「ベッドコントロール会議」を中心に院外は基幹病院の連携室や地域のケアマネジャーと随時連携を取りながら救急搬送・入院患者の受入を継続して実施しています。
	当該経営強化プラン期間中は現在の病床数を維持	計画通りに現在の病床数（78床）を維持しています。
地域包括ケアシステムにおける役割	回復期医療需要増加に対応するため病床の機能変更を実施、病床利用率の向上を図る	病床の機能変更は、今後の医療需要の変化に対する調査が必要となるため令和5年度は機能変更検討を実施していません。
	在宅復帰した患者の訪問診療を実施、介護・福祉領域への橋渡しを実施	地域連携室を中心に地域のケアマネジャーと連携を図り訪問診療を継続して実施しています。
機能分化・機能連携	令和5年9月より常勤小児科・内科医師1名、令和6年4月より常勤整形外科医師1名を増員し、常勤科を拡充	令和5年9月より常勤小児科・内科医師1名を増員し常勤科の拡充を実施しました。認知度向上のため保育施設や児童館（小児科）老人・介護施設（整形外科）に対し情報提供を行いました。
	基幹病院である八戸市立市民病院との地域連携パスの運用検討会等に参加し連携強化を図り、高度医療受診後の患者受入れを強化	基幹病院である八戸市立市民病院を中心とした連携会議（年3回開催）に積極的に参加し、連携強化を実施しました。
	在宅患者、施設入所者の入院受入れを実施、在宅療養の後方支援機能を強化	八戸市立市民病院スーパービジョン（3か月に1回開催される医療ソーシャルワーカーの勉強会）に参加し、事例の共有等による知識向上を行い機能強化の取り組みを行いました。
新興感染症対応	当該計画期間中は、感染対策委員会・院内感染防止対策部門・感染制御チームを中心に施設改修では無く、必要備品を補充し対応	必要備品は適宜補充し対応しました。八戸市民病院と連携し、感染対策地域連携合同カンファレンスを年に4回（うち1回は実地訓練）を行いました。
一般会計負担	総務省通知の繰出基準に基づいて一般会計負担を実施、これまで同様に基準外繰出は実施しない	繰出基準に基づいた一般会計負担を実施し、基準外繰出は行っていない。

項目	計画	実施状況
住民の理解	おいらせ病院運営審議会・国民健康保険運営審議会・民生委員会、パブリックコメントを通じ広く町民の意見・提案を受ける	ホームページへの掲載を中心に、パブリックコメントを実施し、令和6年1月19日から令和6年2月18日まで経営強化プランへの意見募集（意見書提出0件）を実施しました。
最適な経営形態の選択	当該計画期間以降の病院新築移転計画の円滑化のため地方公営企業法一部適用を継続、以後は地方公営企業法全部適用に絞り、調査・検討を継続	地方公営企業法の全部適用については、令和7年度以降に行う予定としています。
医師・看護師等の確保	求人広告、人材紹介会社等、これまでの取り組みを継続し医師確保に努める	取り組みを継続し、医師は常勤小児科・内科医（令和5年9月）と常勤整形外科医（令和6年4月より）を新たに採用しました。
	連携中枢都市圏医師派遣事業による医師派遣の継続を依頼	令和5年9月より整形外科医（毎週木曜半日）、脳神経外科医（月1回半日）、眼科医（月2回1日）の外来業務派遣、これまで同様に休日の日直業務（月2回）・平日の宿日直業務（月2回）の派遣を受けています。
	看護師等医療従事者は上記取り組みの他に教育機関への情報発信を実施する	令和6年度の八戸学院大学看護学科の就職説明会に参加するため、就職説明会の見学を実施しました。 八戸市内の看護学校（3校）に看護師採用試験の案内の文書を送りました。
医師の働き方改革への対応	タイムカードによる時間管理を継続し、時間外労働時間等の把握に努める	タイムカードと事前残業申請制度を継続し、労働時間の把握に努めました。 月1回の安全衛生委員会にて時間外労働状況を把握し、時間外労働の適正化に向け取り組みました。
	基幹病院への医師派遣を依頼し、医師の意識・意欲向上を支援	令和6年2月より、八戸市立市民病院へ小児科・内科医を毎月奇数週の金曜日に派遣し、研鑽の支援を実施しました。
事務局体制強化	人事異動に備えたマニュアル整備・業務効率化、配属期間延長を検討	随時、業務に関するマニュアル等の検討整備を行いました。
施設・設備の最適化	令和5年度財務会計システム更新・再来受付機導入を予定	計画通りに財務会計システムの更新・再来受付機の導入を行いました。
	令和5年度中にメールアドレス等の情報統制を実施し、管理体制を構築し情報セキュリティを強化	令和6年度に機器並びに情報統制の現状把握の委託を行うべく、委託事業者の情報収集を実施するに留まりました。

(2) おいらせ病院経営プラン 収支計画の実施状況

収益的収支

(単位：千円)

科目	年度	令和3年度 実績(参考)	令和4年度 実績(参考)	令和5年度			令和9年度 計画(参考)
				(計画値)①	(実績値)②	差②－①	
1. 収益的収入		990,918	979,482	1,039,885	980,816	▲ 59,069	1,111,626
医業収益 (A)		847,508	843,126	906,436	835,756	▲ 70,680	978,280
入院収益		555,020	527,396	594,774	566,708	▲ 28,066	632,286
外来収益		180,390	193,004	189,695	177,594	▲ 12,101	225,083
その他医業収益		112,098	122,726	121,967	91,454	▲ 30,513	120,911
他会計負担金 (B)		45,565	43,301	55,701	52,140	▲ 3,561	55,701
うち基準内繰入金		45,565	43,301	55,701	52,140	▲ 3,561	55,701
うち基準外繰入金		0	0	0	0	0	0
その他医業収益		66,533	79,425	66,266	39,314	▲ 26,952	65,210
医業外収益 (C)		143,410	136,356	133,449	145,060	11,611	133,346
他会計補助金		34,858	33,245	42,384	30,747	▲ 11,637	42,384
他会計負担金		69,109	66,903	75,073	86,696	11,623	75,073
うち基準内繰入金		69,109	66,903	75,073	86,696	11,623	75,073
うち基準外繰入金		0	0	0	0	0	0
国庫補助金		4,072	1,337	0	0	0	0
県補助金		19,596	18,944	243	5,977	5,734	243
長期前受金戻入		9,429	9,805	9,429	16,711	7,282	9,429
その他医業外収益		6,346	6,122	6,320	4,930	▲ 1,390	6,217
2. 収益的支出		951,469	935,649	1,038,070	1,018,560	▲ 19,510	1,083,172
医業費用 (D)		919,796	893,875	996,296	983,486	▲ 12,810	1,041,398
給与費		600,689	573,086	608,240	597,250	▲ 10,990	644,669
材料費		88,666	79,801	94,874	77,791	▲ 17,083	103,299
経費		171,976	182,539	231,826	227,081	▲ 4,745	232,074
うち委託費		127,855	131,455	179,086	159,499	▲ 19,587	179,086
減価償却費		57,384	54,604	60,000	79,785	19,785	60,000
その他医業費用		1,081	3,845	1,356	1,579	223	1,356
医業外費用		31,673	41,774	41,774	35,073	▲ 6,701	41,774
支払利息及び企業債取扱諸費		69	99	99	513	414	99
患者外給食材料費		296	284	284	256	▲ 28	284
雑損失		0	0	0	0	0	0
消費税		1,961	4,442	4,442	3,406	▲ 1,036	4,442
長期貸付金貸倒引当金		2,400	1,200	1,200	1,200	0	1,200
その他医業外費用		26,947	35,749	35,749	29,698	▲ 6,051	35,749
3. 経常損益		39,449	43,833	1,815	▲ 37,744	▲ 39,559	28,454
特別利益		0	448	0	0	0	0
固定資産売却益		0	0	0	0	0	0
過年度損益修正益		0	448	0	0	0	0
その他特別利益		0	0	0	0	0	0
特別損失		0	0	0	0	0	0
固定資産売却損		0	0	0	0	0	0
過年度損益修正損		0	0	0	0	0	0
その他特別損失		0	0	0	0	0	0
4. 特別損益		0	448	0	0	0	0
5. 純損益		39,449	44,281	1,815	▲ 37,744	▲ 39,559	28,454
6. 前年度繰越利益剰余金		▲ 143,882	▲ 104,433	▲ 60,152	▲ 60,152	0	0
7. その他未処分利益剰余金変動額		0	0	0	0	0	0
8. 当年度未処分利益剰余金 (E)		▲ 104,433	▲ 60,152	▲ 58,337	▲ 97,896	▲ 39,559	28,454

(単位：千円)

科目	年度	令和3年度 実績(参考)	令和4年度 実績(参考)	令和5年度			令和9年度 計画(参考)
				(計画値)①	(実績値)②	差②－①	
流動資産		997,341	1,080,692	1,143,707	960,274	▲ 183,433	1,490,604
うち未収金		111,532	153,470	132,077	136,349	4,272	143,230
流動負債		103,183	112,615	87,528	121,305	33,777	91,569
うち一時借入金		0	0	0	0	0	0
うち未払金		39,474	29,770	42,592	36,006	▲ 6,586	44,558
翌年度繰越財源		0	0	0	0	0	0
当年度許可債で未借入 又は未発行の額		0	0	0	0	0	0
単年度資金収支額		72,509	73,919	88,102	▲ 129,108	▲ 217,210	89,293
累積欠損金比率 $\frac{(E)}{(A)} \times 100$		12.3	7.1	6.4	11.7	5.3	▲ 2.9
医業収支比率 $\frac{(A)}{(D)} \times 100$		92.1	94.3	91.0	85.0	▲ 6.0	93.9
修正医業収支比率 $\frac{(A)-(B)}{(D)} \times 100$		87.2	89.5	85.4	79.7	▲ 5.7	88.6
地方財政法施行令第15条第1項により 算定した資金の不足額 (F)		0	0	0	0	0	0
地方財政法による $\frac{(F)}{(A)} \times 100$ 資金不足の比率		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健全化法施行令第16条により 算定した資金の不足額 (F)－(G)＝		0	0	0	0	0	0
健全化法施行規則第6条に規定 する解消可能資金不足額 (G)		0	0	0	0	0	0
健全化法施行令第17条により 算定した事業の規模 (A)		847,508	843,126	906,436	835,756	▲ 70,680	978,280
健全化法第22条により 算定した資金不足比率 (A)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

資本的収支

(単位：千円)

科目	年度	令和3年度 実績(参考)	令和4年度 実績(参考)	令和5年度			令和9年度 計画(参考)
				(計画値)①	(実績値)②	差②－①	
資本的 収入	①企業債	49,700	102,500	21,800	10,700	▲ 11,100	21,800
	ア建設改良のための企業債	49,700	102,500	21,800	10,700	▲ 11,100	21,800
	イその他	0	0	0	0	0	0
	②他会計出資金	10,093	13,780	21,480	21,470	▲ 10	21,480
	③他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	うち基準内繰入金	0	0	0	0	0	0
	うち基準外繰入金	0	0	0	0	0	0
	④他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	⑤他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	⑥固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0
	⑦国庫補助金	1,496	0	1	0	▲ 1	1
	⑧都道府県補助金	0	42,750	2,750	0	▲ 2,750	2,750
	⑨工事負担金	0	0	0	0	0	0
	⑩その他	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	61,289	159,030	46,031	32,170	▲ 13,861	46,031
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
資本的 支出	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
	純計(a)－{(b)+(c)} (A)		159,030	46,031	32,170	▲ 13,861	46,031
	①建設改良費	52,050	145,770	24,563	19,644	▲ 4,919	24,563
	②企業債償還金	19,460	26,560	42,960	42,940	▲ 20	42,960
	③他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	④他会計への支出金	0	0	0	0	0	0
	⑤その他	4,800	2,400	1	2,400	2,399	1
	支出計 (B)	76,310	174,730	67,524	64,984	▲ 2,540	67,524
	差引不足額(B)－(A) (C)	▲ 15,021	▲ 15,700	▲ 21,493	▲ 32,814	▲ 11,321	▲ 21,493
	①損益勘定留保資金	10,289	2,448	19,037	23,727	4,690	19,037
補填 財源	②利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0
	③繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	④その他	4,732	13,252	2,456	1,173	▲ 1,283	2,456
	計 (D)	15,021	15,700	21,493	24,900	3,407	21,493
補填財源不足額(C)－(D) (E)		0	0	0	▲ 7,914	▲ 7,914	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	0
実質財源不足額 (E)－(F)		0	0	0	0	0	0

一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：千円)

	令和3年度 実績(参考)	令和4年度 実績(参考)	令和5年度			令和9年度 計画(参考)
			(計画値)①	(実績値)②	差②－①	
収 益 的 収 支	() 149,532	() 143,449	() 173,158	() 169,583	() ▲ 3,575	() 173,158
資 本 的 収 支	() 10,093	() 13,780	() 21,480	() 21,470	() ▲ 10	() 21,480
合 計	() 159,625	() 157,229	() 194,638	() 191,053	() ▲ 3,585	() 194,638

(注1) ()内はうち基準外繰入金額

(注2) 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業操出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金である。

(3) おいらせ病院経営プラン 経営指標に係る数値実績

指標名		令和3年度実績 (参考)	令和4年度実績 (参考)	令和5年度			令和9年度計画 (参考)
				(計画値) ①	(実績値) ②	差②－①	
経常収支比率(%)		104.2	104.7	100.2	96.3	▲ 3.9	102.6
医業収支比率(%)		92.1	94.3	91.0	85.0	▲ 6.0	93.9
修正医業収支比率(%)		87.2	89.4	85.4	79.7	▲ 5.7	88.6
1日平均患者数	入院(人)	53.4	46.5	51.9	50.2	▲ 1.7	55.3
	外来(人)	112.1	116	117.8	106.7	▲ 11.1	139.8
病床利用率(%)		73.1	63.7	77.5	68.8	▲ 8.7	82.5
平均在院日数(日)		21.2	20.1	21.3	24.1	2.8	20.0
給与費対修正医業収益比率(%)		74.9	71.7	71.5	76.2	4.7	69.9
材料費対修正医業収益比率(%)		11.1	10.0	11.2	9.9	▲ 1.3	11.2
職員数	常勤医師(人)	5	4	5	5	0	6
	常勤看護師(人)	35	35	35	35	0	42
現金保有残高(千円)		887,185	930,680	1,011,630	960,274	▲ 51,356	1,347,374

(4) おいらせ病院経営プラン 病院機能に係る数値実績

指標名		令和3年度実績 (参考)	令和4年度実績 (参考)	令和5年度			令和9年度計画 (参考)
				(計画値) ①	(実績値) ②	差②－①	
予定病床数(床)		78	78	78	78	0.0	78
地域医療研修受け入れ件数(件)		3	2	2	2	0.0	3
訪問診療件数(件)		365	1,185	1,248	1,262	14.0	1,380
リハビリ件数(件)		6,375	3,980	4,378	4,128	▲ 250.0	6,830
紹介件数(件)		227	239	280	218	▲ 62.0	310
逆紹介件数(件)		171	186	170	168	▲ 2.0	190